

令和6年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～介護関係者向け～ アンケート集計結果

n=55 (回収率91.7%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	10	(18.2%)
・介護機関	43	(78.2%)
・その他	2	(3.6%)
計	55	(100.0%)

2. 職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	3	(5.4%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	6	(10.7%)
・ケアマネジャー	20	(35.7%)
・相談員	6	(10.7%)
・介護職員	20	(35.7%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	0	(0.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	0	(0.0%)
・その他 (施設長1名)	1	(1.8%)
計	56	(100.0%)

(複数回答含む)

3. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	51	(92.7%)
・どちらともいえない	1	(1.8%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	3	(5.5%)
計	55	(100.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・急性期病院と介護職との考えのズレについて学ぶことができてよかったです。そのズレをうめるために連携がとても重要であると感じました。
- ・特に退院時の病院内と介護側の認識のずれを改善する必要があると感じた。

<看護師>

- ・連携について学ぶ事ができました。
多職種での温度差を少なく連携していきたいです。
- ・薬局関連で思いやりある連携のディスカッションとはいえず、物足りなかったです。熊倉さんと阿部さんのお話は面白かったです。病院だからこそ見守っているが..などよくわかると思って聞いてました。

<相談員>

- ・医療機関でも特色が異なるため、急性期の医療相談員がどのようなことを考えているのか知る事ができてよかったです。ディスカッションでは、病院側・施設や在宅側の意見が聞けて勉強になりました。
- ・阿部さんのディスカッションスムーズでとてもよかったです。

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・講師の方々の説明がわかりやすかった。
- ・MSWの立場からの話しが聞けて良かったです。医療と介護のズレがないようにしていければと思います。
- ・退院時、病院と連携し安全に過ごせるようにするために必要なことだと思いました。
- ・MSWの方々の思いを知る事が出来良かったです。利用者さんの為に上手く連携できるといいと思います。
- ・ディスカッションの内容が興味深かったです。
- ・各立場からの視点も考えての研修であった。今を考え行動にずれがないように患者を知る事も大切。
- ・様々な意見があって楽しむことができる。

<介護職員>

- ・積極的に顔見知り、信頼関係を築いていきたいと改めて感じた。
- ・急性期病院の実情がわかりました。
- ・一つの物事に関しての事でも医療側と介護側で受け取り方の違いを感じる事もあるので、相手側が求めている情報が何かを考えたりその方の状態の共有確認が大切だと思いました。
- ・分かりやすくて良かったです。それぞれの役割の大変さを知りました。
- ・病院に入院され戻ってくる方も多く、入院前と退院後のADLの変化等気になる所なので。
- ・病院での退院支援のお話が聞けて良かった。
- ・急性期からの退院が早いと思ってましたが、施設で暮らす方の為に良いことだと理解できました。ありがとうございました。
- ・自施設の良いところを確認できました。
- ・医療の場と施設の場では違うことがたくさんあると思いました。
患者様の為に最高のケアを出来るよう他職種での連携を大切にしていこうと思いました。
- ・退院調整をしてくださる側の意見・言葉を聴けて良かったです。
- ・母が脳梗塞で倒れ函館脳神経外科病院からA病院へ転院、現在は施設に入所となっております。介護士と言えどわからないことも多かったので覚えています。今回の研修に参加し改めてどういう状態なのかわかりました。
- ・ケアマネ目指している介護員ですが、医療と介護の連携を学べて良かったです。ケアマネに必要な事や医療側の事情を知れて良かったです。

【その他】

<施設長>

- ・ 退院時に医療との連携をしていく中でご家族との思いなどいろいろな迷いがあることがありご本人にとって何が大切なのかを今後も多職種で話し合っていきたいと思いました。

<相談員>

- ・ 相談援助食の立場から発信されていた内容であり、共感する点が多かった。職員間をきっかけに話を展開していく内容は道南圏の研修ではあまりなくなったと思うので良かったです。

4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 薬剤師が関連するもの。

<看護師>

- ・ 講演＋ディスカッションというような形式は楽しいです。出席者に意見を聞くという形は連携のあり方を考える機会になるので続けてほしいです。出席人数にもよりますね。

<相談員>

- ・ 「対話」についてのテーマどうでしょうか？

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 同じような多職種の話が聞けると良いと思います。
- ・ ACP

<相談員>

- ・ 相談員に特化した入退院連携の研修

<介護職員>

- ・ 今回のテーマを深掘りしてほしいです。
- ・ 看取り, エンゼルケア, ターミナルケア
- ・ コロナ5類となってからの施設での感染対応について
- ・ 介護施設だけでなく他職種側からのお話を聴けることはとてもいいものだと思います。
- ・ 他職種のディスカッション

5. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

【医療機関】

<看護師>

- ・いつも大変な調整をお疲れ様です。これからも頑張って下さい。

<相談員>

- ・医療機関向けと介護関係者向けの日程が連続だったので、できれば少し配慮してほしいです。
- ・医療相談員の印象をプラスにする。良い人柄を感じる会でした。

【介護事業所】

<介護職員>

- ・医療側のお話を聴ける機会があまりなかったので聴く事ができ良かったです。ありがとうございました。
- ・ニュアンスの違いがあるのは仕方ないですね。
- ・言葉のニュアンス、温度差のお話は思い当たる事もあり、興味深いテーマだと思いながら拝聴しました。

【その他】

<相談員>

- ・4月からケアハウス（A型）で勤務しております。ディスカッションのテーマにあった介護サービスが外向けとなる環境で薬剤管理指導を活用する機会がとて多くて驚いています。訪看である必要性を見極めていきます（今は）